

## 監事報告書

かながわ「福島応援」プロジェクト（以下、「kfor」という。）の2022年度の第4Q（令和5年1月1日～令和5年3月31日）の事業及び会計について監査したので報告する。

### 1、監査方法の概要

代表・会計からの報告及び総会・定例会・活動の状況を受け、また、ホームページや重要な関連書類を閲覧し、事業及び会計について監査を実施した。

### 2、監査結果

#### （1）事業監査

第4Qは、双葉町ダルマ市、第15回講演会、福島訪問#5、有志活動として吾妻山麓醸造所のお手伝いなどを実施した。2022年度として、福島訪問便を含めて17便を計画し14便実施（3便は見合わせ）、勉強会、視察研修、講演会と主要な発信も行った。事業参加者は、延べ283人、活動便参加者（福島訪問を含む）は54人/17便であった。

#### （2）会計報告

会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、活動計画書、財務諸表注記等のすべて相違なく適正に表示されていた。

2022年度の収入は978千円（会費72千円、寄付497千円、支援金（寄付）300千円、目的寄付79千円、その他30千円）、計画は、1,935千円であり、458千円プラスであった。支出は、概ね計画の通りである。大きな支出は視察研修便、講演会であった。2023年度は、一人でも多くの方の会員更新、ご寄付も期待し、福島への関心を持ち続けていただくよう、活動、発信を続けて欲しい。

### 3、監事提言・期待

#### （1）提言

- ・月に1回の定例会では、事前の議事の発信を行い、常に報告連絡相談を大事に丁寧な運営を行っている。会員の参加を期待する。
- ・「2023年度の活動計画案」には、現地の団体や街の人達と繋がり、元気を生み出す活動「kfor Green Project」を企画した。現地のスタッフが、役所や機関だけでなく地域の人々が育ちつつある中、時間はかかるが現地に寄り添う活動を行っている。更に進めて欲しい。
- ・多くの方々から寄付や支援を頂いているのは、丁寧な情報発信と運営からだと思える。コロナで活動が制限される中、役員さんの熱心な活動に感謝します。

(2) 期 待

- ・講演会では、身近な災害から福島を考える機会を生むことができると考える。
- ・視察研修は、活動の中で参加が多く関心のあることがわかる。準備など大変であるが毎年計画を期待したい。
- ・活動が繋がりをつくってきた。コロナで活動ができなくなったが、出来る限り顔を合わせた活動、現地だけでなく神奈川の活動で繋がりをつくることできないか。

令和5年5月11日 以上

監事 田村 武司

